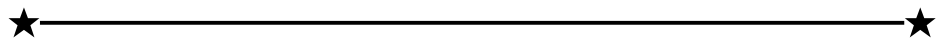




メールマガジン「ユニバーサルひょうご通信」第125号
発行:兵庫県ユニバーサル推進課 令和3年1月15日



令和3年「丑」年。世界中で猛威を振るう新型コロナウイルスですが、夢と希望をもって、立ち止まることなく一步一步、歩んでいきたいですね。

暗いニュースばかりではなく、オンラインの活用や動画配信等を利用した、新たなユニバーサル社会推進に向けた取組みも県下各地で始まっています。

本年も、ユニバーサルな情報を盛りだくさんでお届けしますので「ユニバーサルひょうご通信」を、引き続きよろしく願いいたします。それでは、1月号をどうぞ！



【今月のピックアップ！】

- ① 聴覚に障害のある方の鑑賞をタブレットでサポート！
兵庫県立ピッコロ劇団公演「波の上のキネマ」2/19～21
- ② ボックサン&イスズバーカリーのシェフ監修
障害者就労支援B型事業所で、新商品のサブレ&食パン誕生

【イベント・募集】

- ③ 障害者芸術・文化祭「美術工芸作品公募展」作品を募集(～2/1)
- ④ 「兵庫県障害者アートギャラリー」1・2月の催し

【ラジオ】

- ⑤ ラジオ「濱田祐太郎のひょうごユニバーサル通信」12月放送



-
- ① 聴覚に障害のある方の鑑賞をタブレットでサポート！
兵庫県立ピッコロ劇団公演「波の上のキネマ」2/19～21
-

兵庫県立ピッコロ劇団の「波の上のキネマ」は、聞こえない方や聞こえにくい方にも舞台を楽しんでいただけるよう、セリフや音の情報を、タブレット(貸し出し無料)に字幕で表示して上映します。

生のお芝居のライブ感をどうぞお楽しみください。

※全5回公演のうち、21日(日)16時公演のみ字幕タブレット対応

■公演

兵庫県立ピッコロ劇団第69回公演 ピッコロシアタープロデュース
「波の上のキネマ」

原作:増山実「波の上のキネマ」集英社刊

脚本・演出:岩崎正裕

○ものがたり

閉館の危機にある尼崎の小さな映画館の経営者が、創業者である祖父の波乱に満ちた人生をたどることに。脱出不可能と言われた絶海の島での壮絶な運命、そこに差す希望の光とは—

○公演日程

2021年2月19日(金)19時

20日(土)11時/16時

21日(日)11時

★21日(日)16時 ★字幕タブレット対応公演

○会場

兵庫県立芸術文化センター 阪急 中ホール

〒663-8204 兵庫県西宮市高松町 2-22

○料金

一般 4,500円、大学生・専門学校生 3,000円、

高校生以下 2,500円

○字幕対応のお申し込み方法

必要事項〔①氏名 ②住所 ③連絡先(FAX・メールアドレス) ④人数〕を記載し、
タイトルを「字幕希望」にして、下記までお申し込みください。

○お問合せ・お申し込み

ピッコロ劇団 鑑賞サポート係 (担当:古川・新倉)
電話 06-6426-1940 FAX06-6426-1943
メール:theater@hyogo-arts.or.jp

公演詳細はこちら

<https://piccolo-theater.jp/event/3906/>

② ボックサン&イズズベーカリーのシェフ監修

障害者就労支援 B 型事業所で、新商品のサブレ&食パン誕生

県の「障害者工賃向上アドバイザー事業」を活用し、社会福祉法人
兵庫県社会福祉事業団が運営する就労継続支援 B 型事業所で、
新商品が誕生しました。

■「honoka」 赤穂精華園やまびこ寮

スイーツとパンの店「honoka」(赤穂市加里屋)は、神戸洋菓子
「ボックサン」の福原敏晃代表から指導を受け、サブレを新発売しま
した。バターの香りとコクを活かした、しっとりした風味が特徴です。

○新商品:サブレ5種(バター、ココナッツ、チョコ、もち米、紅茶)

○価格:1枚 80円(税込み)

○販売:スイーツとパンの店「honoka」

(JR 播州赤穂駅隣「プラット赤穂」2F)

※贈答用セットあり。お気軽にお問い合わせください。

○問い合わせ:電話0791-56-9660、FAX0791-56-9661

E-mail ako_honoka@hwc.or.jp

■「Ayumi」 五色精光園あゆみの部屋事業所

天然酵母のパンが人気の「Ayumi」(洲本市五色町)は、イズズベーカ

リーの井筒大輔常務取締役の監修による食パンを新発売しました。
井筒常務取締役自らが淡路島牛乳をふんだんに使用したオリジナル
レシピを作成、イスズベーカリーの製法を伝授していただきました。
ふんわりとした食感や淡路島牛乳の甘みが特徴です。

○新商品:淡路島牛乳食パン「淡雲(あわぐも)」

○価格:1本400円、-half 200円(税込み)

○販売:予約販売・訪問販売 ※お気軽にお問い合わせください。

○問い合わせ:電話0799-32-0400、FAX0799-32-0410

E-mail ayuminoheya@canvas.ocn.ne.jp

■障害者工賃向上アドバイザー事業についてはこちら

<https://web.pref.hyogo.lg.jp/kf10/shuroushien/jinnzaibannku.html>

③ 障害者芸術・文化祭「美術工芸作品公募展」作品の募集(～2/1)

第16回兵庫県障害者芸術・文化祭「美術工芸作品公募展」を、3月5日～7日に県立美術館にて開催します。

県内に在住する障害のある方からの出展作品を募集しますので、ぜひご応募ください。

<募集作品>

絵画、書道、写真、工芸・その他(彫塑、立体作品、CGアート等)

詳しくは、こちら募集要領をご覧ください。

https://web.pref.hyogo.lg.jp/press/20201224_6822.html

④ 「兵庫県障害者アートギャラリー」1月・2月の催し

神戸市灘区の県立美術館王子分館「原田の森ギャラリー」内に、10月にオープンした「兵庫県障害者アートギャラリー」では、障害者芸術作品の常設展示を行っています。

障害のある方々が、様々な表現手段を使い、自由な発想で創作された豊かな創造の世界をどうぞご鑑賞ください。

<出展団体>

■一般財団法人 カナウ(~1/17まで)

■特定非営利活動法人 100年福社会片山工房(2/2~3/31)(予定)

<https://hyogo-arts.or.jp/harada/exhibition/>

⑤ ラジオ「濱田祐太郎のひょうごユニバーサル通信」12月放送

月1回ラジオ関西で放送中の「濱田祐太郎のひょうごユニバーサル通信」。

「ひょうごユニバーサル大使」でお笑い芸人の濱田祐太郎さんと、月替わりのゲストが、「ユニバーサル社会って何だろう?」と考える番組です。

12月21日放送のゲストは、劇作家・演出家で、令和3年4月に豊岡市に開校する「芸術文化観光専門職大学」学長予定の平田オリザさん。

この大学は、国公立大学で初めての本格的な演劇を学べる大学で、芸術文化と観光の両方の視点を活かし、地域に新たな活力を創出する人材を養成します。

「これからのアートを背負っていく人材を養成したい」との平田さんの決意に、濱田祐太郎さんは、「将来カンヌの舞台に立つ人が出てくるかもしれない」と期待を寄せました。

また、平田さんは、豊岡市内の小中学校で「演劇的手法を使ったコミュニケーション教育」を行っています。グループワークで劇を作ることによって、子ども達は、自分で考える力がつき、自分と違う意見

も受け入れながら、みんなと協力できるようになっていきます。
平田さんは、このように演劇など芸術によって人と社会をつなぐ
「文化による社会的包摂」を、活動の中心にされています。
詳しい放送内容は、ラジオ関西「ラジトピ」をご覧ください。
<https://jocr.jp/raditopi/2020/12/23/208024/>

■芸術文化観光専門職大学(一般選抜試験を令和3年2~3月に実施)
<https://www.tajima-kakeru.jp/>

■次回のラジオ「濱田祐太郎のひょうごユニバーサル通信」
1月18日(月)15時20分~15時40分(ラジオ関西「PUSH!」内)
ゲストは、一般社団法人兵庫県言語聴覚士会会長の田中義之さん(予定)。
「失語症者の現状と社会参加」についてお話いただきます。

【編集・発行】

イベント情報やメルマガの配信中止等のご連絡は以下まで

兵庫県健康福祉部障害福祉局ユニバーサル推進課
〒650-8567 神戸市中央区下山手通5丁目10番1号
TEL:078(362)4379 FAX:078(362)9040
Mail:universal@pref.hyogo.lg.jp
